

1979年2月26日のアメリカ・カナダ日食旅行ガイド

足立 潔 史

〔はじめに〕

来年2月のアメリカ・カナダ日食も次第に間近となってきて、もうそろそろ観測旅行の準備にとりかかっている人もいる事でしょう。今回は2度目、3度目となるベテランの方、また初めて海外旅行となる方、いろいろな方々がそれぞれに計画を練っていらっしゃる事でしょう。観測方法や、機械の準備については、独自にそれぞれの方法でコツコツ進められるものなのですが、いざ旅行の計画や準備となると、対外接渉も多くなかなか面倒でつい腰が重くなってしまいます。そこで今回のアメリカ・カナダ日食に関して、初めての海外旅行となる方にも参考となるような旅行ガイドをまとめてみました。

〔日食の概要〕

この日食の概要については「日食情報版1」に塩田和生氏が記されていますので、観測計画の参考にして下さい。

ともかく2月のアメリカ北部、カナダといったら、北米大陸の寒気団のまっただ中ですので、寒さに対する準備が重要なポイントとなります。平均気温は-10℃以下ですので観測機械も観測する人も、十分耐寒処理の必要があります。

〔アメリカ・カナダの地方標準時〕

次に天文観測には時刻を正確に知る必要があります。また旅行計画や旅先での生活のためには、その地方の標準時に合わせる必要があります。アメリカ合衆国本土及びそれに隣接するカナダ地方では、東海岸から西海岸まで四つの標準時間帯に分けられています。それぞれ世界時(UT)、日本標準時(JST)との違いは下記のようになります。また夏時間は4月から、10月までの間適用されて、1時間づつ時計が進められます。情報はテレビやラジオ、また電話サービスなどからも得られます。

地方標準時	UT	JST	含まれる主な都市
東部標準時	-5H	-14H	ニューヨーク・ワシントン
中部標準時	-6H	-15H	シカゴ・ウィニペグ*
山岳標準時	-7H	-16H	ルイスタウン*・デンバー・フェニックス
太平洋標準時	-8H	-17H	リッチランド*・シアトル・サンフランシスコ

(注) *印は観測候補地

また短波放送による標準電波は下記のようにあります。地理的にコロラド州のフォート・コリンズからのWWVが使いやすいでしょう。

発 信 局	局 名	周 波 数 (MHz)
オ タ ワ	C H U	3.3 3 7.3 3 5 14.6 7
フォート・コリンズ	W W V	2.5 5 10 15 20 25
ハ ワ イ	W W V H	2.5 5 10 15 20

〔天 気 予 報〕

日食当日が晴れるか曇るか、天気予報は大変気になるものですが、天気予報、天気図は日本と同じ様にラジオ、テレビ、新聞を通じて知る事ができます。テレビのニュース・センターなどで、お天気オジサンが出てきて、気象衛星の写真を見せたり、大きな天気図の前でお天気解説をやってくれたりします。「明日は何パーセントの確率で雨が降ります」などと当る確率まで言うところは面白い点です。その他に表現法で、国際メートル法をいまだに使用していないため、いくつか日本と違う点があります。注意する必要があります。

気 温 ; °F (華氏) で表示する。

$$C (摂氏) \text{ への換算は } C = \frac{5}{9} (°F - 32)$$

「32を引いて、2で割って、1割増す」と覚えると便利です。

冬には時々 Below zero (0 °F以下)、すなわち-32°C以下になる事があります。

気 圧 ; 1気圧(760mmHg)は30 inchHgと言います。

風 速 ; マイル/時で表示されます。

風速3mは6.75マイル/時となります。

「数字を2で割って1割引く」と覚えると換算できます。

慣れないうちは天気予報を聞いても、暖かいのか、寒いのか、風は強いのか弱いのか、さっぱり感覚的に分からないものです。

〔電 源 電 圧〕

アメリカ・カナダでは家庭用電灯線は115V、60Hzで供給されています。電気カミソリ、ヘアー・ドライヤー、ラジオぐらひは日本の仕様のままで使えない事はありませんが、観測用機材としては、電池駆動式を用意した方が無難です。標準規格の電池ならスーパー・マー

ケットでいくらでも入手できます。ただし観測条件が-10℃以下ともなると、電池の起電効率にも気を付ける必要が出て来ます。

〔旅行手続〕

個人で特別に旅行計画を立てる人以外は、10名以上のグループを組んで団体扱いにした方が、費用も割安になります。グループの編成については各人各様に行われると思いますが、グループ編成に関する情報が集まり次第、各グループの代表者や担当旅行社に詳細を問い合わせてみるとよいでしょう。また、2、3人の仲間が決まったらグループ編成のため参加募集を試みるのもよいでしょう。

旅行に必要な手続きは次のようなものです。すべて旅行社を通じて手配ができます。

- パスポート
- アメリカ、又はカナダの入国ビザ
- 外貨(アメリカ・ドル)
- 交通、宿泊の予約

〔費用〕

旅行計画、人数によって異なりますが、アメリカ・カナダの場合、9日間、10名以上の団体で約40万円程度となります。支払いについては、旅行社を通じて各種の旅行ローンなども使えます。

〔モデルコース〕

さて、これから旅行計画、グループ編成を行おうと考えている方々への参考として、また面白そうなプランがあれば、何でもいいから便乗しようと思っている不精な方々へも参考となるように、いくつかアメリカ・カナダの日食旅行モデル・コースを作ってみました。もち論、観測地の最終決定にはまだまだいろいろ検討が必要でしょうし、費用とグループ・メンバーの好みに応じて、いろいろなバリエーションを取る事も可能です。(各コースの費用概算は日本交通公社調べによる参加人員10名以上の場合です)

Aコース 「西海岸北から南まで」

観測地としてシアトルの南東約280km、カスケード山脈とロッキー山脈に挟まれたワシントン盆地内のリッチランド附近を選びました。このあたりでは日食は午前8時20分頃

皆既となり、太陽高度は 15° 前後であり良い条件とは言えませんが、シアトルからの交通の便は良く、また盆地内の気候は海岸地方よりずっと安定して晴天率も高くなります。

観測後はシアトルからサンフランシスコ、ロサンゼルスと、西海岸の大都市に沿って観光旅行をします。

A コースの日程 (費用概算：42万円)

2月24日 (土)	東京 → シアトル → リッチランド シアトルにて米国入国手続後、国内便またはバスにてリッチランドへ
2月25日 (日)	リッチランドにて観測準備 附近で観測地の選定、観測機材の準備
2月26日 (月)	日食観測 午前8時20分頃。太陽高度 15° 前後 リッチランド → シアトル 観測後シアトルへ移動
2月27日 (火)	シアトル近郊観光 タコマ富士と呼ばれるマウント・レーニア又は市内観光
2月28日 (水)	シアトル → サンフランシスコ サン・ノゼ市郊外のリック天文台見学
3月1日 (木)	サンフランシスコ → ロサンゼルス 午前中 : サンフランシスコ市内観光 午後 : ロサンゼルス市内観光 ハリウッドやウィルソン山天文台など
3月2日 (金)	ロサンゼルス 終日ディズニーランドで遊んだり、又はゴルフやテニスも可能
3月3日 (土)	ロサンゼルス → 東京
3月4日 (日)	東京着

Bコース 「ロッキー山脈とグランド・キャニオン」

観測地はモンタナ州ルイス・タウン附近とする。このあたりはロッキー山脈からアメリカ中央部大平原地帯へ広がってゆく ミズリー川の上流部で天候は安定している。日食は午前9時30分頃皆既となり、太陽高度は20°以上となる。

観測後はコロラド州デンバーよりロッキー山脈の冬景色を見物し、アリゾナ州に下って、アリゾナの大隕石孔とグランド・キャニオンの観光を行う。ラス・ベガスのカジノも話の種となるでしょう。

Bコースの日程 (費用概算：46万円)

2月24日 (土)	東京 → シアトル → グレート・フォールス → ルイス・タウン シアトルにて入国手続きの後、国内便でロッキー山脈を越えグレート・フォールスへ。 さらにバスでルイス・タウンへ向う。
2月25日 (日)	ルイス・タウン附近にて観測準備 観測地の選定、観測器材の準備
2月26日 (月)	日食観測 午前9時30分頃。太陽高度20°位 ルイス・タウン → ビリングス → デンバー 観測後デンバーまで移動。
2月27日 (火)	デンバーよりロッキー山脈国立公園観光
2月28日 (水)	デンバー → フェニックス アリゾナ州ツーソン郊外のキット・ピーク天文台見学
3月1日 (木)	フェニックス → フラッグスタッフ → グランド・キャニオン フラッグスタッフ郊外にてアリゾナの大隕石孔見学
3月2日 (金)	グランド・キャニオン → ラス・ベガス グランド・キャニオン観光の後ラス・ベガスへ。
3月3日 (土)	ラス・ベガス → ロサンゼルス → 東京
3月4日 (日)	東京着

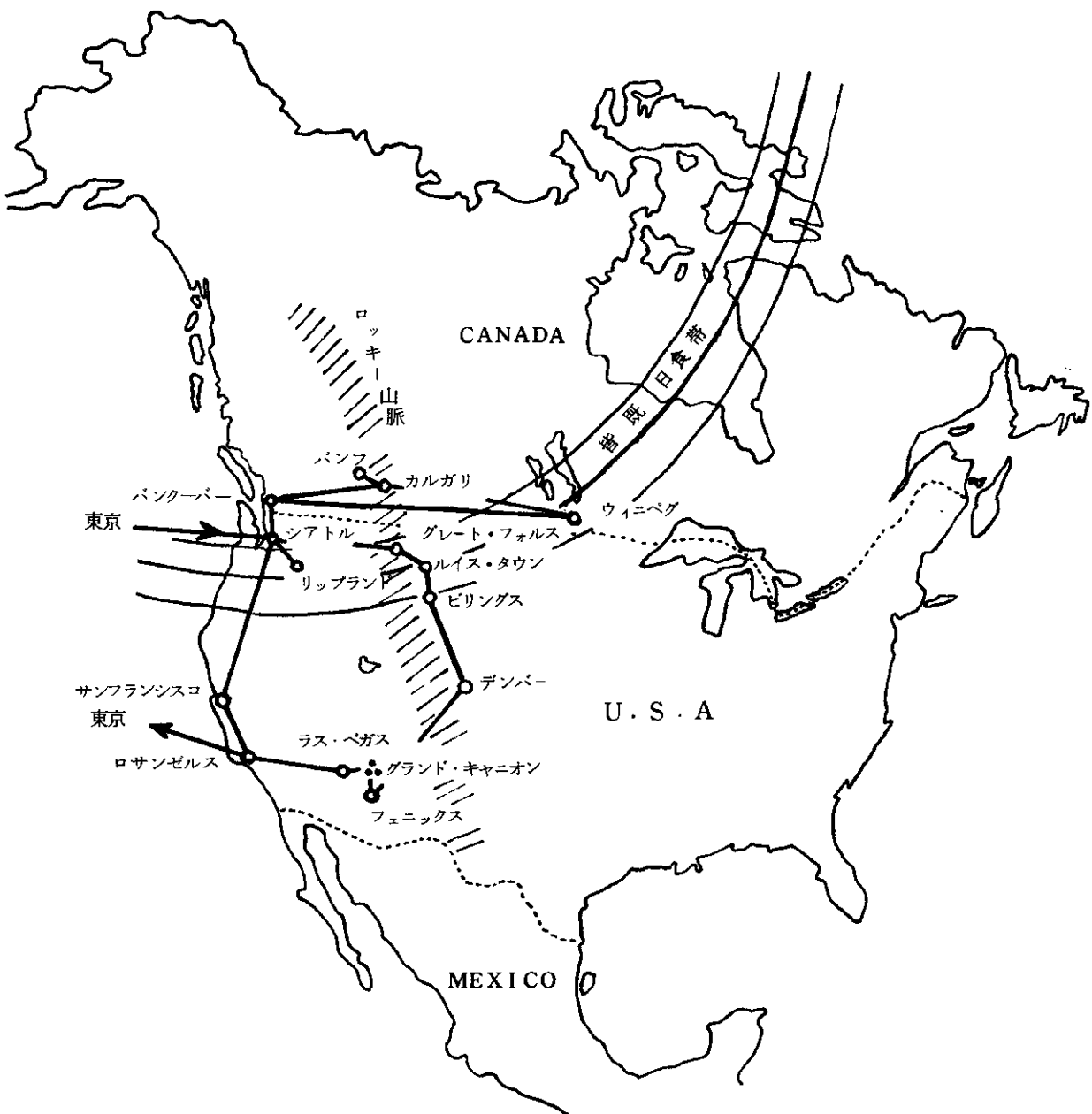
Cコース 「カナディアン・ロッキーのスキー・ツアー」

観測地はカナダのマニトバ州ウィニペグ附近。ウィニペグ湖を中心に広大に広がる湿地帯は氷の原野となっているでしょう。皆既は午前10時50分頃、太陽高度は約25°です。

観測後、カナディアン・ロッキーの中心地バンフ国立公園で、たっぷりロッキーのスキーを楽しみます。

Cコースの日程 (費用概算：48万円)

2月24日 (土)	東京 → シアトル → バンクーバー → ウィニペグ シアトルからバンクーバーへはバスで国境を越える。 バンクーバーよりカナダ国内便でウィニペグへ
2月25日 (日)	ウィニペグ近郊にて観測準備 観測地の選定。観測器材の準備
2月26日 (月)	日食観測 午前10時50分頃。太陽高度約25°
2月27日 (火)	ウィニペグ → カルガリー → バンフ カルガリーまでは飛行機。カルガリーからバンフへはバス。
2月28日 (水)	マウント・ノークスキー場で終日スキー
3月1日 (木)	レイク・ルイススキー場で終日スキー
3月2日 (金)	バンフ → カルガリー → バンクーバー バンクーバーにて市内観光
3月3日 (土)	バンクーバー → ロサンゼルス → 東京
3月4日 (日)	東京着



1979年2月26日のアメリカ・カナダ日食モデルコース